



地球大学アドバンス

第17回 総論「希望の地球」～竹村真一氏による基調講演

2009.4.27 mon

4月からの地球大学アドバンスは、「希望の地球」を全体テーマに、装いも新たにスタートします。

地球温暖化に対する認識はようやく社会に浸透し、日本版グリーン・ニューディールを叫ぶ声も大きくなりつつあるものの、その目線はまだ近視眼的で欧米追従的なものが多いのが現状ではないでしょうか？でも、いま本当に求められるのは、対症療法的な景気刺激策や新規雇用対策にとどまらず、次世代が何で食べていくのか(次の基幹産業論)、気候変動や食糧・エネルギーの需給変動リスクに強い、ロバストな社会・都市構造をどうデザインしていくか、という長期的で骨太な論議であるはずで。

新年度の地球大学では、こうした問題を毎回ビジネスと学術の双方からゲストを招き、グランドビジョンとともに具体性のあるソーシャルデザインとして提示していく所存です。また、より参加性を高めるべく、終了後毎回1時間、交流会を開催します。

拙著「地球の目線」(PHP新書)で提示したビジョンの実践編、「希望の地球」の具体化にむけたプロセスとして、1年間お付き合いいただければ幸いです。

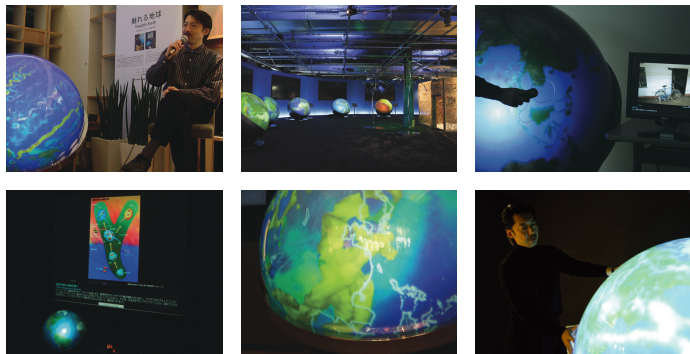
[topics]

- 新たな地球像～「都合な真実」に祝福された星、地球的日常の宇宙的破格さ
- 都市は「自然の一器官」として進化しうるか？～地球「工」学ビジョン
- 「変動」を前提としたロバストな文明デザイン～水・食糧・エネルギー・気候変動
- “サステナビリティ”(持続可能性)を超えた、次世代の文明尺度
- 年間計画：“希望の地球”への見取り図

モデレーター: 竹村真一

京都造形芸術大学教授。Earth Literacy Program代表。東京大学大学院文化人類学博士課程修了。地球時代の人間学を考究しつつ、ITを活用した独自の地球環境問題への取り組みを進める。Sensorium(97年アルス・エレクトロニカ・グランプリ受賞)、デジタル地球儀「触れる地球」(05年グッドデザイン賞・金賞)や「100万人のキャンドルナイト」「aqua scape」など、さまざまなプロジェクトを推進。環境セミナー「地球大学」主宰。07年「water」展ではコンセプト・スーパーバイザーとして企画制作に携わる。08年7月の北海道・洞爺湖サミットでは、国際メディアセンター(IMC)内の環境ショーケースにおける「地球茶室」の総合企画・プロデュースを担当。新著「地球の目線」(PHP新書)など著書多数。2009年4月26日よりラジオ「GLOBAL SENSOR」がJ-WAVE 81.3にて(偶数月の第4日曜25時～)放送開始。

竹村真一プロジェクトサイト: <http://www.elp.or.jp/>



開催概要

日時:2009年4月27日(月) 18:30～21:30

企画・司会:竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場:新丸ビル10階「エコツェリア」

地図:<http://ecozeria.jp/access.html>

定員:50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法:事前登録が必要です

事前登録URL:<http://earth.ecozeria.jp/>

参加費:エコツェリア会員企業所属…無料

*名刺にて照会いたします。名刺(写真証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属…有料2,000円

プログラム

18:00 受付開始

18:30 開演

20:20～21:00 サロントーク(懇親会)

21:00 閉会